

いつもご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
2022年11月のFIJの活動内容や成果についてご報告します。

▶欧州の偽情報対策機関「EDMO」会長と意見交換

欧州で偽情報対策を推進するコンソーシアム・EDMO (the European Digital Media Observatory) のミゲル・マドウロ会長の来日にあわせて、11月8日、都内でFIJとの意見交換会を行い、FIJ理事3名が参加しました。マドウロ会長へのインタビューも収録し、12月6日開催のウェビナーで一部公開予定です。

▶ファクトチェック・ナビの更新

11月は、9件の[ファクトチェック結果](#)、25件の[誤情報関連ニュース\(リンク集\)](#)を追加しました。

▶疑義言説の収集状況

FIJの疑義言説データベース[Claimonitor](#)への11月の新規登録件数は195件でした。ClaimMonitorの機能等については[こちらの一連の記事](#)もご参照ください。

▶ファクトチェック通信(メールマガジン)の発行

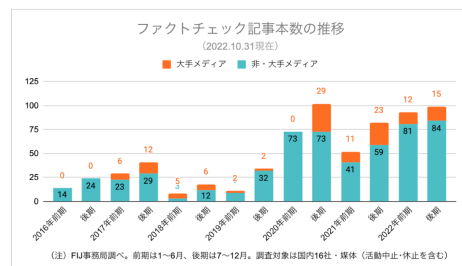
11月は以下のタイトルで3本を発行しました。

- ・11月12日「Twitterの誤情報対策の行方に注目集まる “Birdwatch”は名称変更」

今年国内で発表されたファクトチェック記事本数が過去最多となったことをグラフでご紹介しました。
(ほぼ同内容の[WEB版](#))

- ・11月18日「日本テレビ、ファクトチェック特番放送へ」([バックナンバー](#))

- ・11月29日「ウェビナー「ヨーロッパの偽情報対策プロジェクトから何を学べるか」を開催します」([バックナンバー](#))



▶FIJ理事の活動

- ・奥村信幸理事が11月の新刊「[デジタル変革時代の放送メディア](#)」(民放連研究所客員研究員会編、勁草書房)の第4章「ローカル放送局のファクトチェック能力強化のために—新型コロナやワクチン関連のミスインフォメーション対策からの教訓」を執筆しました。
- ・古田大輔理事がオンライン動画サービス「Schoo」で担当した授業「[情報社会を生き抜くメディアリテラシー第2回『偽情報を見分けるネット検索テクニック』](#)」が11月30日に生放送されました。

▶FIJファクトチェックアソシエイトの活動

- ・慶應塾生新聞の連載記事《フェイクニュースと向き合う》第3回「[BuzzFeed Japan 篠智広太氏に聞くーファクトチェック実践現場](#)」が11月20日に公開されました。本連載はファクトチェックアソシエイトとして活動する乙幡丈翔さんが執筆しています。

今後ともご注目・ご支援のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。